

## 第6回 江戸川大学簿記コンクール【 問題 】

### 第1問 (20点)

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	売掛金	売買目的有価証券	未収金
前払金	従業員立替金	買掛金	未払金	前受金
所得税預り金	資本金	売上	有価証券売却益	仕入
給料	水道光熱費	広告宣伝費	消耗品費	旅費交通費
通信費	支払家賃	支払手数料	雑費	有価証券売却損

- 徳島商店に対して、買掛金の支払額 30,000 円と次回の商品仕入れのための手付金 12,000 円として、小切手 42,000 円を振り出した。
- 小口現金係から、次のとおり 1 週間分の支払報告を受け、支払額と同額の小切手を振り出した。  
電車代 3,000 円、文房具代 4,000 円、切手代 5,600 円、茶菓代 3,200 円
- 従業員負担の昼食代 5,000 円を立て替えていたが、本日、従業員から現金 4,000 円の支払いを受けた。
- 売買目的で保有する取得原価@6,000 円の A 社株式 30 株を@5,000 円で売却し、代金のうち 100,000 円は現金で受け取り、残額は翌月末に受け取ることにした。
- 電気代として 20,000 円が当座預金から引き落とされた。なお、このうち 8,000 円は、店主の家事のために使われたものである。

### 第2問 (10点)

江戸川商店の平成 22 年 10 月の取引は次のとおりである。これらにもとづいて、それぞれの日付の取引が、答案用紙の示したどの補助簿に記入されるか、答案用紙の解答欄に○印を付しなさい。

- 5 日 利根川商店から商品 400,000 円を仕入れ、代金のうち 250,000 円については約束手形を振り出し、残額は掛けとした。なお、引取運賃 12,000 円については現金で支払った。
- 12 日 流山商店に商品 520,000 円を売り渡し、代金のうち 300,000 円については流山商店振出、江戸川商店受取の約束手形で受け取り、残額については掛けとした。なお、当店負担の発送費 15,000 円については小切手を振り出し支払った。
- 17 日 12 日に流山商店に売り渡した商品の一部に汚損があったため、30,000 円の値引きを求められ、これを承諾し、掛け代金から差し引くことにした。
- 20 日 おおたか商店にかねて注文しておいた商品 250,000 円を引き取り、小切手を振り出して支払った。
- 27 日 流山商店から掛け代金の一部 100,000 円が送金小切手で送られてきた。

### 第3問 (20点)

次の仕入帳と売上帳の記録にもとづいて、①先入先出法によって商品有高帳に記入し、②6月中の売上総利益を計算しなさい。なお、商品有高帳の締切りを行う必要はない。

平成 23 年		仕 入 帳			金 額
		摘 要			
6	11	宮崎商店		掛	
		ワイシャツ	20 枚	@7,000 円	140,000
	22	大分商店		掛	
		ワイシャツ	30 枚	@7,500 円	225,000

平成 23 年		売 上 帳			金 額
		摘 要			
6	17	熊本商店		掛	
		ワイシャツ	30 枚	@11,000 円	330,000
	26	長崎商店		掛	
		ワイシャツ	20 枚	@12,000 円	240,000

### 第4問 (30点)

以下に示した決算修正事項について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、【答案用紙】第5問の精算表で記載されているものを使用すること。なお、会計期間は平成22年1月1日から平成22年12月31日までの1年である。

<決算修正事項>

1. 受取手形および売掛金の期末残高に対して、過去の貸倒実績率にもとづき3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
2. 期末商品棚卸高は82,000円である。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
3. 備品について定額法により減価償却を行う。ただし、備品の残存価額は取得原価の10%、耐用年数は8年である。
4. 借入金 は平成22年9月1日に借入期間1年間、利率年8%で借り入れたものであり、利息は元金の返済時に支払うことになっている。利息は月割計算による。
5. 売買目的有価証券を90,000円に評価替えする。
6. 売買目的で保有している有価証券に対する利息の未収分が2,800円ある。
7. 地代は月5,000円であるが、平成22年12月分が未払いとなっている。
8. 支払保険料は1年分で、保険契約後決算日までの経過期間は5カ月である。
9. 消耗品の期末未消費高が20,000円ある。
10. 現金の実際手許有高は75,000円であった。なお、不一致の原因は不明である。

### 第5問 (20点)

第4問の決算修正事項の仕訳にもとづいて精算表を完成しなさい。